

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

		【施設名称】
		【事業主体】 宝達志水町（旧押水町）
		【所在地】 石川県羽咋郡宝達志水町
		【運転開始年】 平成 15 年（2003 年）
原材料および利用量	剪定枝、伐採木	
生産物（種類）	木材チップ	
利用方法	堆肥原料、防草用敷料	
導入目的・経緯	処理に苦慮していた選定枝や切り倒した樹木を木質バイオマスとして有効利用を図る	
設備仕様	ブラシチップパー（樹木破砕機） チップ能力(直径)：断続 230m/m、 かみこみ口大きさ×高 m/m：425×229 チップサイズ：約 9.5m/m	
稼働状況	1 回当たりの稼働日数：2～3 日 年間の稼働日数：約 60 日 1 回当たりの処理量：約 40 t	
経済性関連データ	初期投資額：11,000 千円（機械設備費）	
導入効果	焼却処分していた剪定枝等をチップに加工し、堆肥として利用することにより、資源の有効利用とともに、環境への負担軽減に貢献	
運営上の課題	材料に、小石等の異物が混入すると破砕機の故障につながることから、搬入する際は異物の混入を防ぐ手だてが必要	
備考・参考資料	・農林水産省 HP（ <b>農林水産業の先進的取組事例</b> ） ・北陸農政局 HP (特定テーマ「バイオマスのエネルギー利用等の先進事例」)	